

基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2020(令和2)年4月
- ◆ 実施部局: 医学研究科
- ◆ 相手方機関: The AIRC Institute of Molecular Oncology(IFOM ETS, イタリア)
- ◆ 設置タイプ: インバウンド型
- ◆ 設置趣旨: IFOM ETS及び京都大学が共同出資する国際共同ラボを京都大学 医学研究科構内に設置し、国際共同研究を推進する。
- ◆ 設置場所: 京都大学医学部E棟208号室(日本・京都)
- ◆ 活動内容: 先端のがん生物学研究の推進を目指す。大学院生や若手研究者の育成に資することが期待できる。

活動による大学全体への波及効果

- 研究ノウハウの共有による研究力の強化
- 研究環境の国際化によるグローバル人材の育成
- 学際的研究交流によるイノベーションの創出

【2025 年度】

- 国際共同研究を引き続き展開し、国際共著論文を発表する。
- MEXTスカラー・JSPS特別研究員を含む複数の留学生、他国籍研究員を受け入れ、国際共同研究を推進する。
- AMGEN Scholar Program、特別研究学生などの制度により複数の留学生を受け入れ、大学の国際化に貢献する。
- IFOM ETSに短期滞在し、国際的な交流の深化に貢献する。

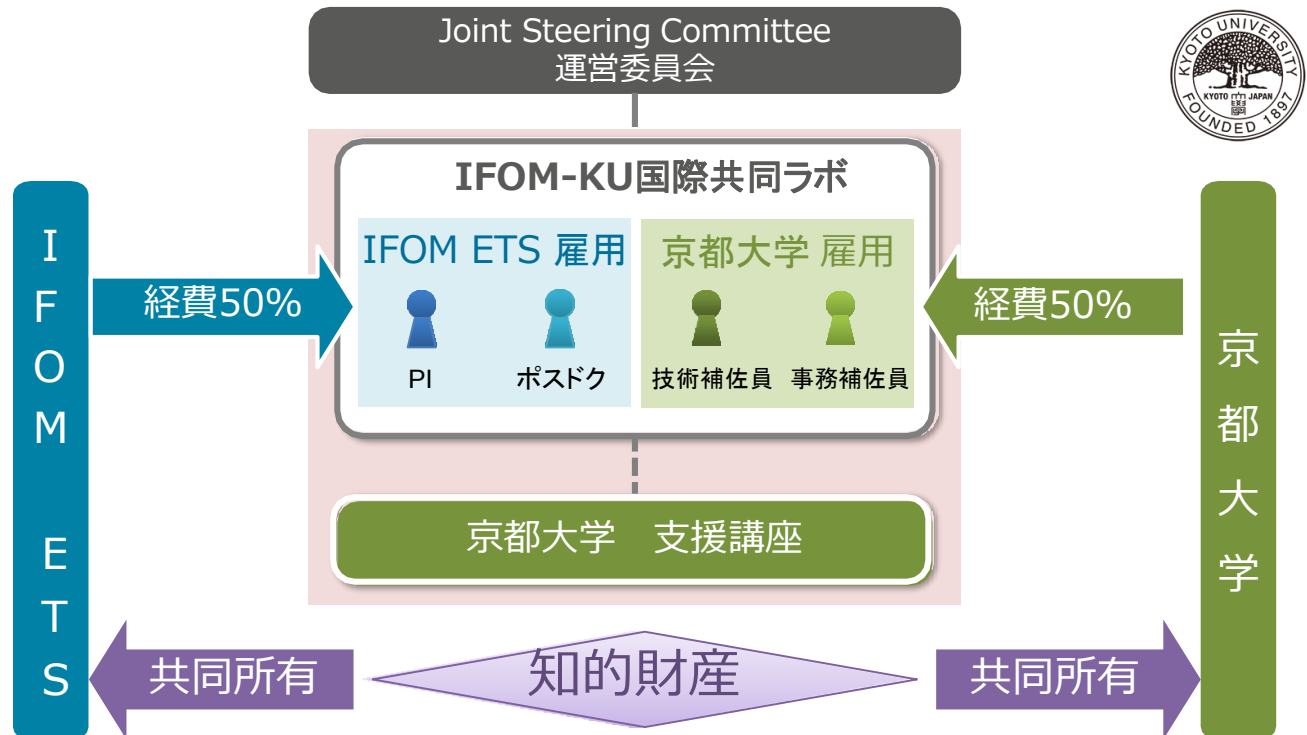
活動概要

IFOMとは



FIRC(the Italian Foundation for Cancer Research)により設立された、がん分子生物学を専門とする研究所。欧州でも有数の規模と設備を誇り、質の高い優れた研究が多く見られる。

医学研究科は、IFOM ETSと継続的な協力関係を構築しており、平成22年に部局間学術交流協定及び学生交流協定を締結以来、双方にて合同シンポジウムを開催するなど、積極的に研究者及び学生の交流を深めてきた。



京
都
大
学

2024年度の主な活動実績

①研究成果

● 原著論文

Diana Romero-Zamora[#], Samuel Rogers[#], Ronnie Ren Jie Low, Andrew B. Robinson, Scott G. Page, Blake JE Lane, Noa Lamm, Fuyuki Ishikawa, **Makoto T. Hayashi**^{*} and Anthony J. Cesare^{*}, A CPC-shelterin-BTR axis regulates mitotic telomere deprotection, **Nature Communications**, 2025, March 17, [#]Equal contribution, ^{*}Co-corresponding authors

● 学会発表

Yuki Sato and **Makoto T. Hayashi**, Micronucleus Derived from Chromosome Fusion Is Not a Potent Inducer of cGAS-STING Pathway, EMBO Workshop Telomere function and evolution in health and disease, Roma, Italy, May 6-11, 2024;

佐藤祐樹、**林眞理**, 染色体融合に起因する微小核はcGAS/STING経路の強力な誘導因子ではない(招待講演), 日本遺伝学会第96回大会, 高知, 2024年9月4-6日

Diana Romero-Zamora, Placide Niyonshuti, Samuel Rogers, Anthony J Cesare, **Makoto T. Hayashi**, RECQ因子によるM期テロメア脱保護の制御機構, 第42回染色体ワークショップ・第23回核ダイナミクス研究会, 大分, 2025年1月29-31日

● 外部資金獲得

科学研究費・挑戦的研究(萌芽), 武田研究助成(がん領域), 2024年度酵素研究助成

②教育・国際化推進・アウトリーチ

● 教育・国際化推進

研究室受け入れ

IFOM ETS ポスドク: ナイジェリア国籍 1名

研究補佐員: メキシコ国籍 1名, 日本国籍 2名

研究員・博士/修士学生: ルワンダ国籍 2名, メキシコ国籍 1名, チリ国籍 1名, 日本国籍 1名

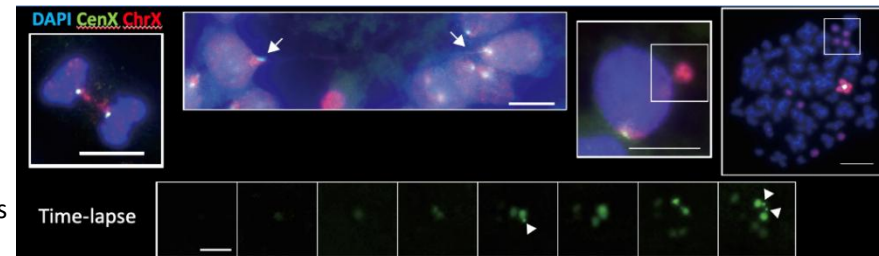
短期留学生 (AMGENスカラープログラム): カザフスタン国籍 1名

IFOM ETSとの交流

PI chalk-talk meeting (Web or 現地, 1回/月); PI会議 (Web, 1回/月); PI retreat (イタリア, 2024年10月7-9日)

● 教育・アウトリーチ活動

IFOM-KU Joint Graduate Student Symposium (ミラノ, 2025年2月19日)



独自に開発した染色体融合可視化システム (FuVis) によるX染色体融合の運命解析



研究室風景